



日本高純度化学株式会社

# MBOから上場へ

2007年1月30日

日本高純度化学株式会社

# 日本高純度化学概要



日本高純度化学株式会社

**事業内容** エレクトロニクス分野に特化した  
貴金属めっき薬品の開発・製造・販売  
金めっき 74% Pdめっき 23% 他3%

**沿革**

1971年	設立
1999年	日本初のMBO企業として再スタート
2002年	JASDAQ市場に上場
2004年	東証第2部に上場
2005年	東証第1部指定

**人員** 従業員 37名

**事業規模** 2006年3月実績

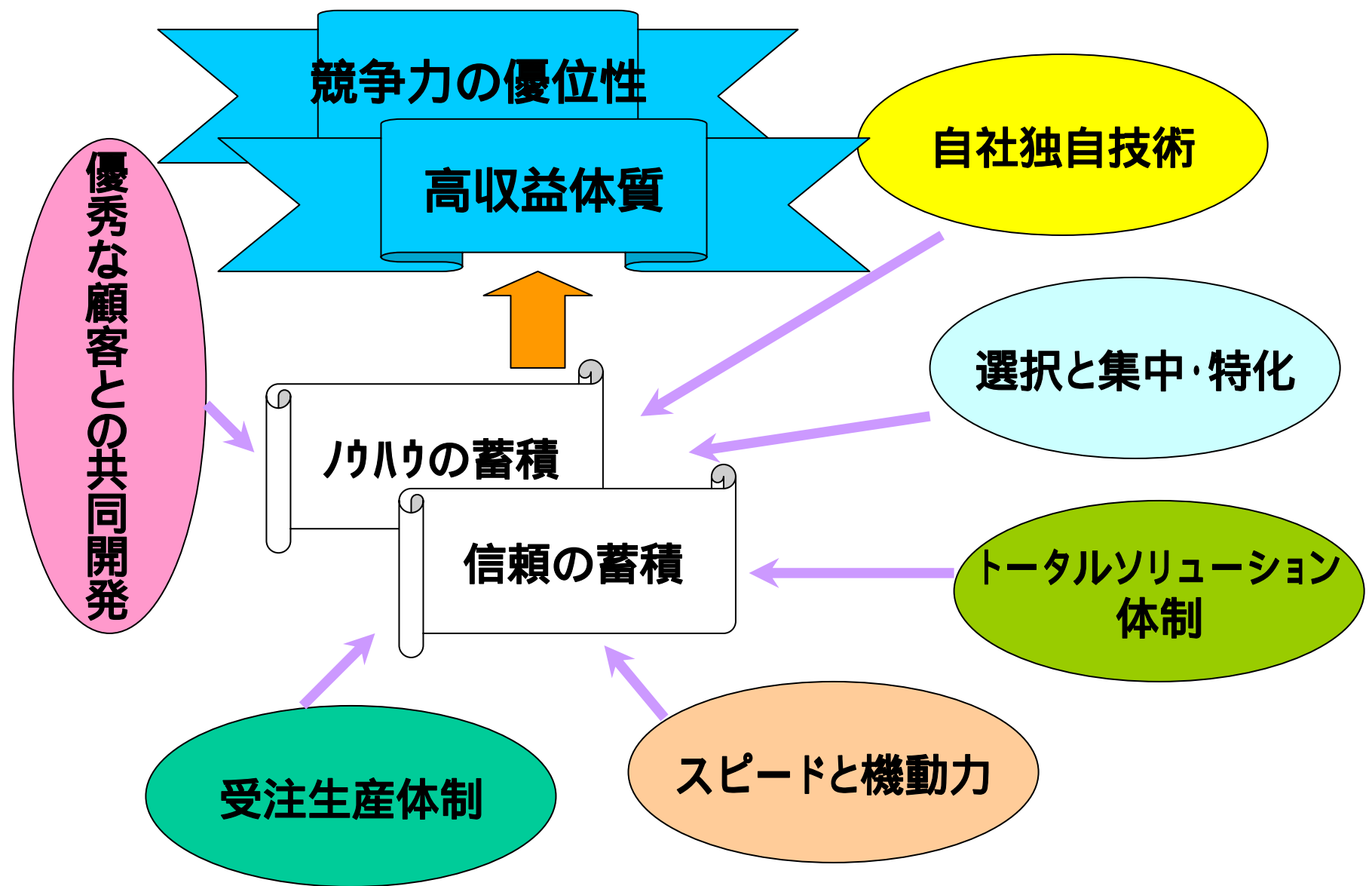
売上高	74.4億円
経常利益	19.5億円

**資本金** 12億3,819万円

# 当社のビジネスモデル



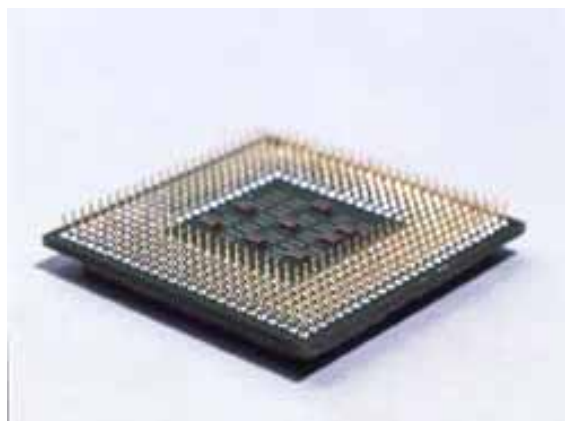
日本高純度化学株式会社





日本高純度化学株式会社

# 主要な最終用途



# 金めっきの必要性



日本高純度化学株式会社

## なぜ金めっきが必要か

電気機器は膨大な部品を接合することによって構成されている。

金めっきを行うことで、耐腐食性の向上などの機能を付加することが出来る。

## 【金の物理的特性】

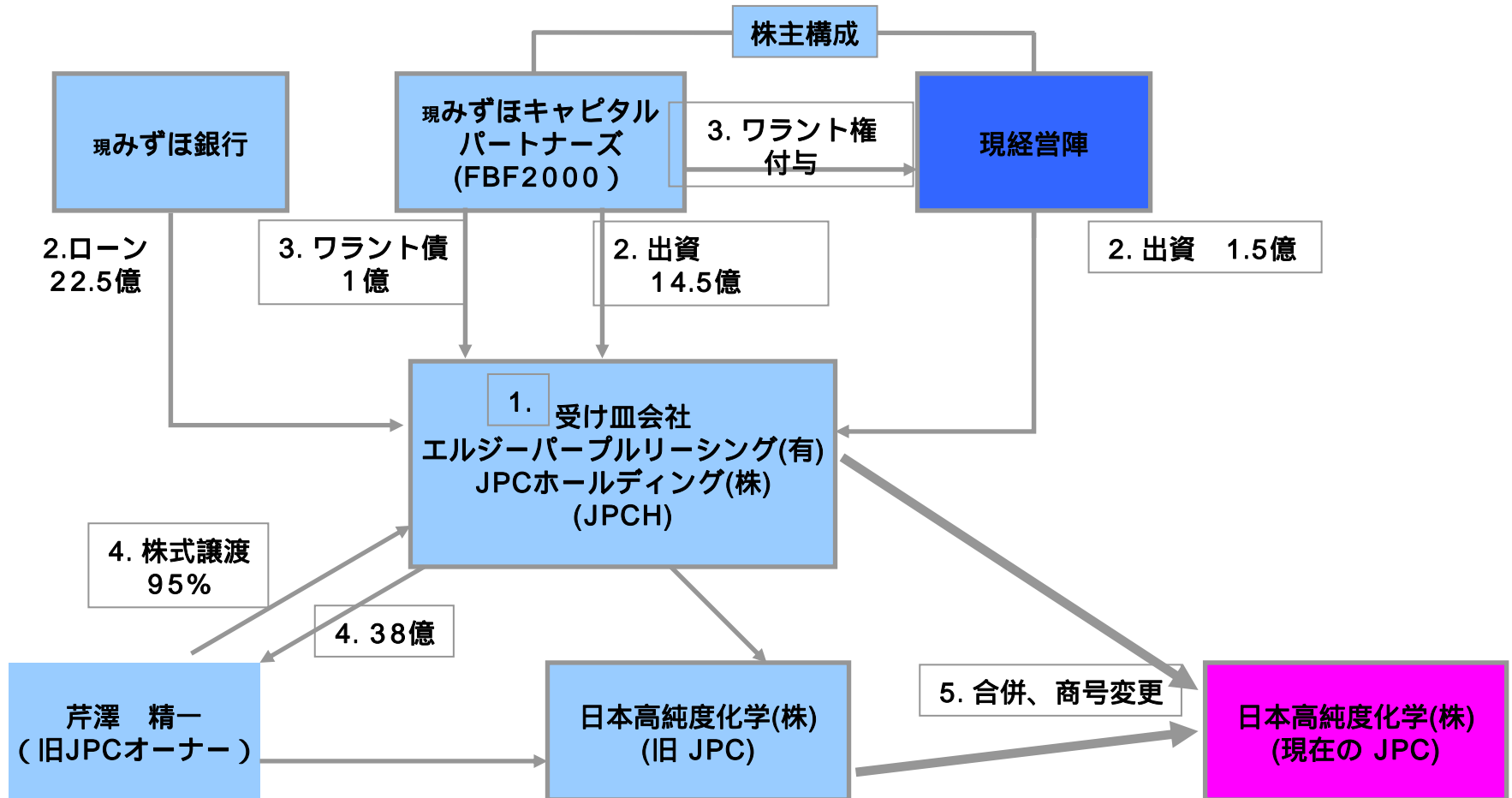
- ・ 防錆性（絶対に錆びないこと）
- ・ 低電気抵抗(電気をよく通すこと)

接点 接合部に不可欠

# MBOの経緯 (1999年11月)



日本高純度化学株式会社



# 営業権の計上と償却期間の短縮



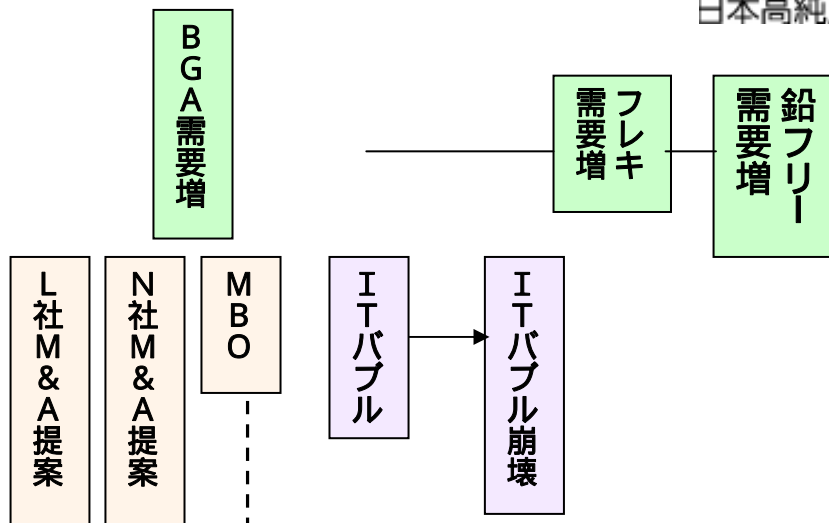
日本高純度化学株式会社

営業権の発生	$3,800\text{百万} - 1,697\text{百万} = 2,103\text{百万}$ 買収額                  純資産                  営業権	(H12/3月期)
営業権の償却 (法定5年)	$2,103\text{百万} \div 5\text{年} = 420\text{百万}$ 年間償却額	(H12/3月期) → 営業外費用
営業権の償却 期間の短縮 (5年 2年)	$2,103\text{百万} \div 2\text{年} = 1,051\text{百万}$ 年間償却額 $1,051\text{百万} - 420\text{百万} = 631\text{百万}$ 過年度営業権償却  合計 1,682百万	(H13/3月期) → 営業外費用 → 特別損失
税効果会計 (3年間短縮分)	有税償却額の42.1%を 繰延税金資産に計上	(H13/3月期)

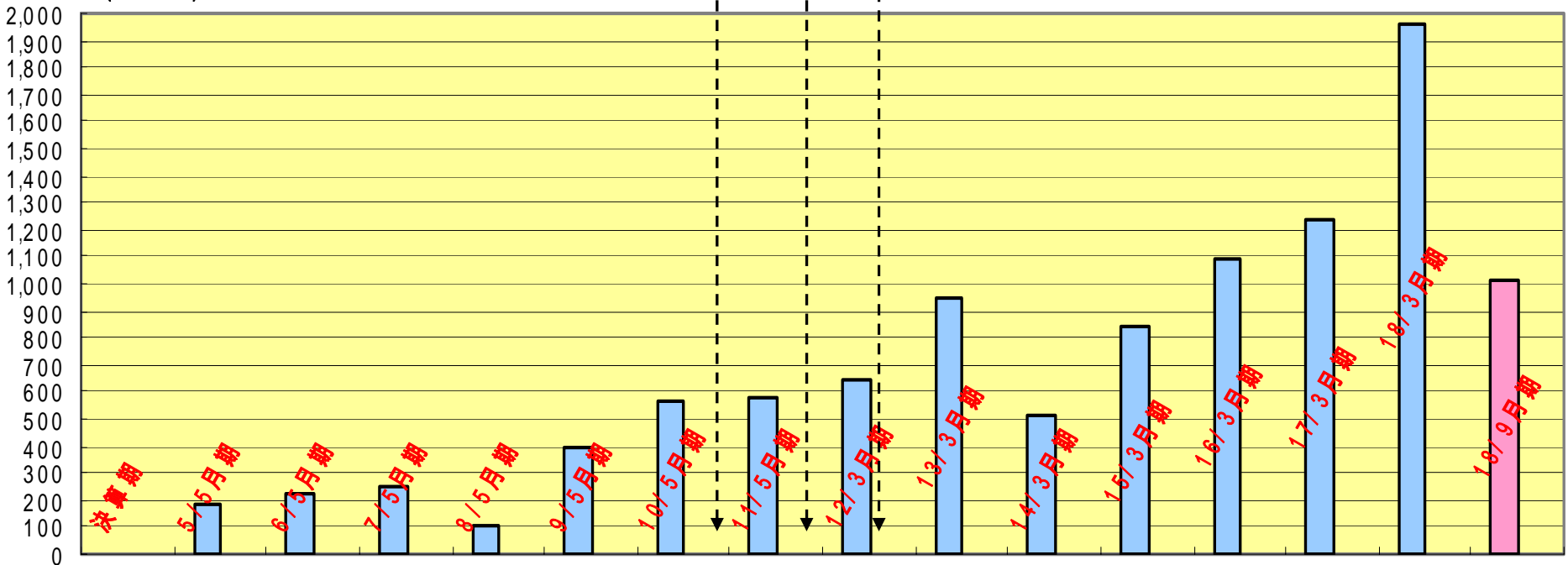
# 営業利益の推移と主要な出来事



日本高純度化学株式会社



営業利益(百万円)



# MBOファンド持株比率 Vs. 時価総額



日本高純度化学株式会社

MBO  
1999年11月16日  
4,000百万円

ジャスダック上場  
2002年12月3日  
5,390百万円

東証二部上場  
2004年3月22日  
21,406百万円

東証一部指定替  
2005年3月1日  
20,451百万円

2003年3月末  
8,485百万円

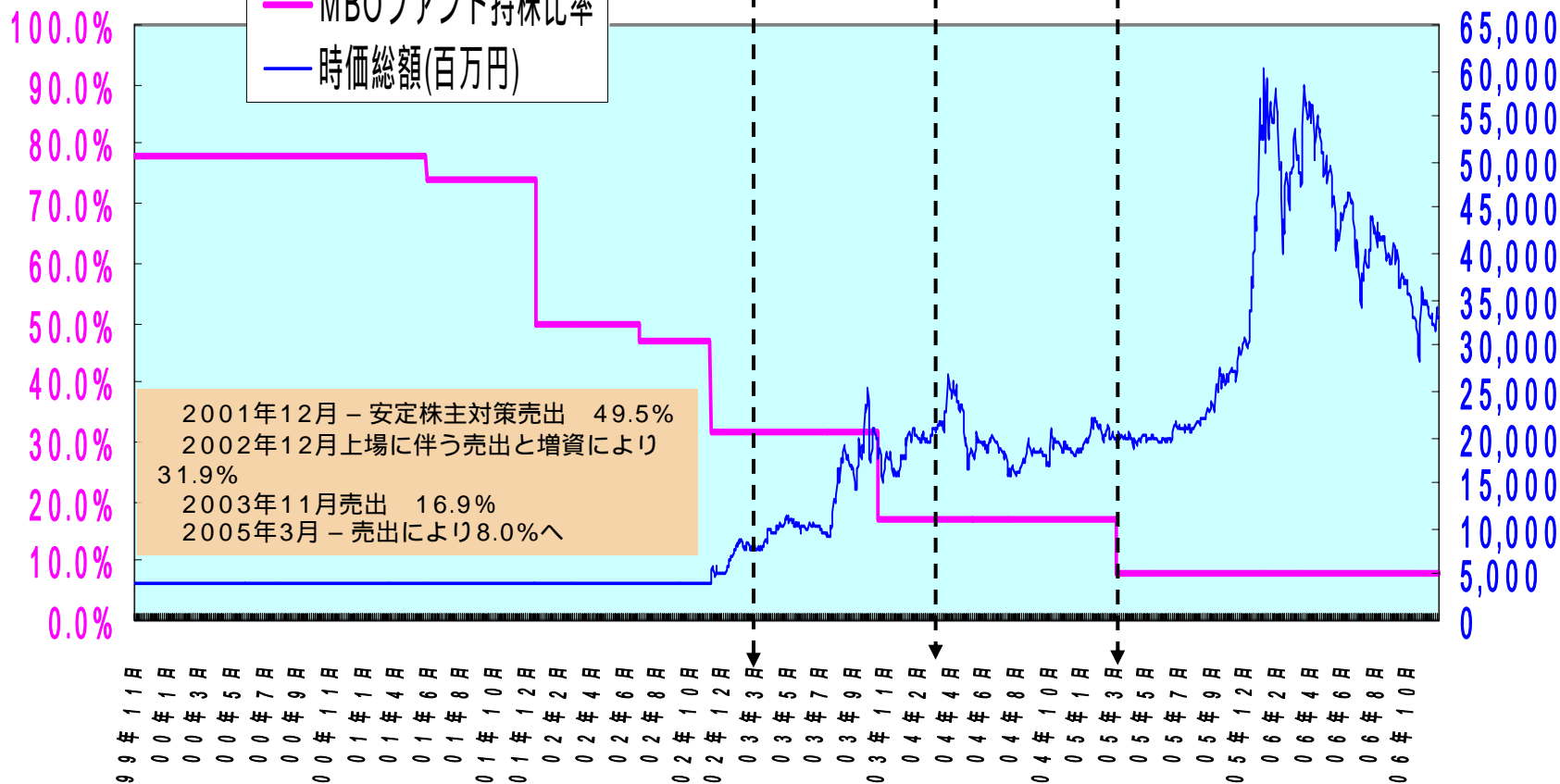
2004年3月末  
23,162百万円

2005年3月末  
20,328百万円

2006年12月末  
32,974百万円

持株比率(%)

時価総額(百万円)



# 2006年3月期業績



日本高純度化学株式会社

業績の推移(単位:百万円、%)

\ 決算期	06/3				07/3(予想)	
	項目 \ 期初計画	(増減率)	実績	(増減率)	実績	(増減率)
売上高	6,000	9	7,448	35	9,000	10.1
売上総利益	2,235	10	2,789	37		
営業利益	1,385	10	1,960	56	2,250	14.8
経常利益	1,375	10	1,959	57	2,250	14.8
当期純利益	820	10	1,182	59	1,350	14.2
E P S (円)	26,323	-	37,419	-	21,505	-
設備投資	100		60		100	
減価償却費	99		92		90	
研究開発費	167		187		240	

# MBOで注意すべきこと



日本高純度化学株式会社

- 1 . 出資者との信頼関係
- 2 . Cash Flowの確保
- 3 . 社内外を安心させる
- 4 . 体質の強化
- 5 . 後継者の育成
- 6 . 安定株主対策